はじめに

The future starts today, not tomorrow.

Pope John Paul Ⅱ

未来は今日始まる。明日始まるのではない。

ヨハネ・パウロ 2 世

星の数ほどある塾・予備校・教材の中から，この講義を選んでくれてありがとうございます。

「画面越しの講義」ということに多少の抵抗と不安があるかもしれません。

無機質な淡々とした授業，わかりやすさを強調するあまり緩いテンポの授業，受験生を子供扱いするかのような綺麗すぎる板書・ゆっくりした話し方…

もしかしたらそんな授業を想像するかもしれません。

この授業では，そういった従来の価値観をすべてリセットし，「本当の英語の考え方」と「リアルな授業」を追求しました。

新しい英語の世界を知ってください。

本当の授業を体感してください。

そして憧れの大学に合格してください。

受験勉強というのは，人が一気に成長できる素晴らしい機会です。

英語の文法・数学の公式・理社の知識… 天才たちが努力して手に入れた「世の中の真実」を一気に学べるわけです。

こんな濃密な時間は，一生の中に 2 度も 3 度もあるものじゃありません。

合格通知を手にするその日まで，ぜひ受験勉強に燃えてください。

関 正生（せきまさお）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予習～授業～復習について

予習（30 ～ 60 分）

ポイントに目を通し，問題をすべて解いてください。気になるところは，手持ちの参考書で調べることも良いことです。

でもあまり時間をかけすぎないでください。みなさんが予習で一生懸命覚える「be to 構文の 5 つの意味」を, ボクは 10 秒で説明します。「分詞構文のいろいろな訳し方」は 20 秒で終わります。

決して，アヤしいテクニックではありません。ましてゴロ合わせで覚えるわけでもありません。

「本質を突けば一瞬で終わる」

英文法の世界には（きっと他の科目でも）そういうことがよくあるんです。
みなさんが丸暗記を強要された内容を，すべて削ぎ落とし，丁寧に再構築する作業こそ，この授業の真骨頂です。暗記量が激減するのは当然で，重要なのは「暗記英語では見えなかった世界が見えるようになること」なんです。
最低限の時間（30 分）はかけてください。でもかけすぎる（60 分以上）必要はありません。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

授業（60 分）

●板書なんて写さなくていい

授業の解説を聞いて「理解」することに全神経を注いでください。
今までの授業のクセで「何でも写そうとする」必要はありません。

ボクの授業は徹底的に「理解させる」「その場で覚えさせる」ことを目標にしていますので，理解できたことは書く必要はありませんし，念のためメモするにしても，今までとは比較にならないほどのスピードと鮮明度でメモできるはずです。
さらに，授業に集中できるように，細かい情報はすべてテキストに書いてあります。

本当に手を動かして書いたほうがいいことだけを書きます。
（ちゃんと授業で「これは書いて」「ここは書かずに聞いて」と指示いたします。）

今までの「板書を写す授業」から，「理解する授業」にシフトしてください。
受験勉強の効率が格段に向上しますよ。

●ポイントごとに「1 分間復習」を

1 つのポイントが終わるごとにチャプターを切ってあります。
一気に次のチャプターに行くのではなく（そのヤル気はすごく良いと思いますが），必ずその場で，そこまでの内容を 1 分復習してください。
集中した 1 分の復習が驚くほど理解・記憶を鮮明にします。
この「1 分間復習」は，今まで 19 年間ボクの授業で毎回行っていることです。
1 時間の授業で，2 ～ 3 回は行います。画面越しに強制はできませんが，ぜひやってみてください。頭の中が整理されるので，次のポイントに集中できるメリットもあるんです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習（1 回目 45 分／ 2 回目 30 分／ 3 回目以降 20 分）／最低 5 回

●極論しちゃえば

一度やった問題がもう一度できれば OK なんです。
つまり，テキストの英文はすべて読めるようにする，知らない単語や文法があってはならないんです。といっても人間忘れるものです。だから何度も反復するようにしましょう。

●「理解」と「定着」は別モノ

復習を完璧にこなすことが成績アップの秘訣です。授業中にミスった問題は解説を聞くと「理解」はできます。でも「理解」と「定着」はまったくの別モノ。
「今日できなかったことが明日はできる」― これこそ「成績が上がる」ということなんです。もし本番の試験で知らないことが出てたらできなくてもいいんです。でも，授業でやった問題が出たら何が何でも，そりゃもう意地とプライドにかけて絶対に正解するようにしましょう。

●復習はとにかく「しつこく」やる

ミスしたら，その場で何も見ないでポイントを言ってみてください。今覚えた単語を言ってみてください。整序問題なら，もう一度トライしてみてください。

… 意外とできないんです。それが普通です。だから何度も何度も「しつこく」復習してください。「勉強をやってるのに成績が上がらない」という人の原因はほとんどこれです。

●文法問題の復習

授業で解説したポイント・解き方，つまり「頭の働かせ方」を何回も反復して，授業の解説と同じように解けるようにしてください。
これが終わったら手持ちの本（学校で指定された文法書と問題集で OK）をやってみてください。この授業で「時制」をやったなら, 手持ちの本で同じ「時制」を。この「テキスト」→「手持ちの本」というサイクルを 5 周繰り返してください。

●復習テスト

自分の好きなタイミングでチャレンジしてください。何度やっても OK です。
この復習テストは，あえてテキストと同じ問題を使いました。だから絶対にできないといけませんよ。

目　次

第 13 講　関係詞(1)	p2
第 14 講　関係詞(2)	p16
第 15 講　比較(1)	p36
第 16 講　比較(2)	p48
第 17 講　冠詞・名詞	p68
第 18 講　代名詞	p78
第 19 講　形容詞	p90
第 20 講　副詞・語法(1)	p104
第 21 講　前置詞	p122
第 22 講　接続詞	p160
第 23 講　文型(1)・語法(2)	p178
第 24 講　文型(2)	p188

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 13 講　　関係詞⑴

関係詞⑴のポイント

【１】　関係代名詞と関係副詞の識別
【２】「前置詞＋関係代名詞」の考え方

ポイント【０】　関係詞に必要な「視点」と「全体像」

●関係詞に必要な「視点」

「マクロの視点」→ 何節を作る？
「ミクロの視点」→ 後ろは完全 or 不完全？

●関係詞の 3 大派閥：「何節を作るか？」で 3 つのグループに分かれる

⑴純粋関係詞グループ（who ／ which ／ whom ／ that ／ whose ／ when ／ where など）

形容詞節を作る

※さらに小さいグループに分かれる（後ろの「完全・不完全」で区別）
関係代名詞 → 後ろは「不完全」
関係副詞 → 後ろは「完全」
前置詞＋関係代名詞 → 後ろは「完全」

⑵一匹狼 what グループ

名詞節を作る　　　※後ろは「不完全」

⑶複合関係詞（whoever ／ however など，-ever がつくもの）

形容詞節だけは作らない（名詞節・副詞節を作る）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ポイント【1】　関係代名詞と関係副詞の識別

●関係代名詞と関係副詞

	関係代名詞	関係副詞	前置詞＋関係代名詞
何節を作る？	**形容詞節**		
後にくる形は？	不完全	完全	完全

★★☆「不完全」のパターン★★☆

1. S が欠ける：「主格の関係代名詞」が入る
   ① ～（　）V.　ex. ～（　）has ～ .　※ has の S が欠けてる
   ② ～（　）sv V.　ex. ～（　）I thought was ～ .　※ was の S が欠けてる
2. O が欠ける：「目的格の関係代名詞」が入る
   ① ～（　）SV（他動詞）.　ex. ～（　）I make.　※他動詞 make の O が欠けてる
   ② ～（　）～ 前置詞 .　ex. ～（　）I live in.　※前置詞 in の O が欠けてる

★★☆「完全」のパターン★★☆

1. 自動詞がくる
   ① ～（　）S V.（自動詞）　ex. ～（　）I live.　※ live は自動詞
   ② ～（　）SVC.　ex. ～（　）I am happy.　※ SVC の完全な文
2. 他動詞だが O がある／受動態になってる
   ① ～（　）SVO.　ex. ～（　）I have breakfast.　※ SVO の完全な文
   ② ～（　）S be ＋ p.p.　ex. ～（　）the book was written.
   ※受動態には O は不要

●関係代名詞の変換表

先行詞　　格	主格	目的格	所有格
人	who	whom	whose
物（人以外，動物も含む）	which	which	whose

※ who・whom・which（つまり whose 以外）は，that で代用可能

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■入試問題演習

1　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) I live in Chiba, (　　) is located to the east of Tokyo.

1. where　　2. which　　3. in which　　4. that

(2) You must not forget that all (　　) glitters is not gold.

1. it　　2. whose　　3. that　　4. which

(3) There was no comment from the lady (　　) I thought was sure to protest.

1. whom　　2. of whom　　3. who　　4. whose

(4) The old man who they decided (　　) in the river proved to be alive.

1. drowning　　2. have drowned

3. was drowned　　4. were drowned

2　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) This is the very dictionary (　　) I have been looking for.

1. what　　2. that　　3. all　　4. where

(2) “Are you going somewhere during the vacation?”

“Yes, I’ve found a nice beach (　　) I can enjoy swimming even in February.”

1. how　　2. when　　3. where　　4. which

(3) Last night Cindy told me about her new job in Tokyo, (　　) she appears to be enjoying very much.

1. which　　2. where　　3. what　　4. when

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4) The exact time (　　) the murder was committed is not known.

1. how　　2. when　　3. where　　4. which

(5) I will show you (　　) he opened the window and broke into the house.

1. way　　2. what　　3. how　　4. which

(6) The professor recommended a book (　　) I found very interesting.

1. where　　2. which　　3. what　　4. whom

３ 空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) They settled in a town (　　) called Virginia City.

1. that　　2. they　　3. was　　4. where　　5. which

(2) He is the perfect accountant, (　　) his predecessor was not.

1. that　　2. which　　3. who　　4. whom

(3) He boasted about the news (　　) his team won.

1. that　　2. what　　3. which　　4. who

(4) John visited the university (　　) his father taught.

1. which　　2. what　　3. where　　4. there

(5) Is that all (　　) is to this story?

1. here　　2. it　　3. that　　4. there　　5. this

【補足】関係代名詞 that が使えない場合

①“前置詞＋ that”はダメ

関係代名詞 that の前に前置詞を置くことはできません。

②「非制限用法（that の直前にコンマを置く用法）」はダメ

“SV, that ～”という非制限用法で that は使えません。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【発展】主格の省略

省略できる関係代名詞は「目的格」ということは，常識でしょうが，実はある条件のもとでは「主格」などの関係代名詞も省略されることがあります。

⑴直後に“SV”がきているとき

①補格：補語の働きをする関係代名詞

She is not the woman {that} she once was.「彼女は昔の彼女ではない」

②連鎖関係代名詞：(　　) sv V のパーン

I was deceived by a man {who} I thought was my friend.

「友達と思っていた男にだまされた」

③“there is”がきた場合

She taught him the difference {that} there was between them.

「彼女は彼に，自分たちの間にある違いを伝えた」

This is all {that} there is to this story.

「この話に関しては，これがすべてです」

⑵ There is ～ 構文の中で

There is somebody {who} wants you on the phone.

「あなたと電話で話したがっている人がいますよ」

※ There is は「新情報提供の目印」と化してしまっている。つまり，There is の後に「本来の SV」がきたという感じになっている。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ポイント【2】「前置詞＋関係代名詞」の考え方

●「前置詞＋関係代名詞」はワンセット

以下の 2 つの文を 1 文にしていきます。

This is the house.	He lives in it.

⑴前置詞が後ろに残るパターン

① 同じものに下線を引く

This is the house. He lives in it.

② 代名詞を関係代名詞にする。

This is the house. He lives in it.

↓

which

it は，前置詞 in の目的語なので，目的格の**関係代名詞** which にします。

③ 関係代名詞を文の先頭にもってくる。

This is the house. which he lives in .

④ 関係代名詞を含む文を，先行詞（ここでは the house）の**直後**にくっつける

This is the house. ＋ which he lives in.

【完成】This is the house which he lives in.「これは，彼が住んでいる家です」

※関係代名詞の後は不完全（in の後が「欠けた」状態）になってますね。まちがっても it を残さないように。

×）This is the house which he lives in it.

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑵前置詞＋関係代名詞をセットで前に出すパターン

いま確認した⑴のパターンは今までと同じ考え方でした。
この⑵は少しだけ変わります。もう一度⑴の③に戻りましょう。

③ 関係代名詞を文の先頭にもってくる。
This is the house. He lives in which.

⑴では which だけを先頭に出しました。今度は in which ごと前に出します。
もともと in it でカタマリを作ってたわけですから，in which でも「セットで移動」としてよいわけです。

【完成】This is the house in which he lives.

このように「前置詞＋関係代名詞」をセットで先頭へもっていくこともできるのです。
ここで，すごく重要な注意点があります。それは「前置詞＋関係代名詞の後ろは完全な文になる」ということです。

関係代名詞だけ先頭へ This is the house which he lives in. ※後ろは「不完全」
前置詞とセットで先頭へ This is the house in which he lives. ※後ろは「完全」

※訳し方は変わりません。

【注意】「前置詞から」形容詞節になる

今までは関係代名詞を見たら，そこから［　　］を考えてきましたが，「前置詞＋関係代名詞」の場合は「前置詞から［　　］でくくる」ようにしましょう。

◎）This is the house [in which he lives].
×）This is the house in [which he lives].

※「前置詞＋関係代名詞」は，「ワンセットで」移動してきたんですから当然のことですよね。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■入試問題演習

1　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) I don't know the name of the man (　) I spoke on the phone.

1. in which　2. from which　3. by whose　4. to whom

(2) The professor sternly told the student, "Read the passage (　) I referred in my lecture."

1. that　2. to that　3. to which　4. which

2　(1)は［　］内の語句を並びかえて正しい英文を完成させなさい。(2), (3)は空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) He seemed to be [the / with / of / anxieties / cause / filled] which I couldn't imagine.

(2) Charles gave me two books, neither of (　) I have read.

1. that　2. them　3. which　4. what

(3) This is a game the rules (　) I am quite ignorant of.

1. which　2. what
3. of which　4. of what

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【自習用】構文の取り方

☆まずは「返り読み」でいいので，「正確に」読めるように

①[　　] をつけて関係代名詞のカタマリを見抜く
関係代名詞を見た瞬間，そこから [　　] でくくる習慣をつけてください。
※この [　　] は，自転車の補助輪みたいなものです。いつかは外（はず）しますが，しばらくはつけておいたほうが安全に走れる（正確に読める）ようになりますよ。

This is the letter [which was written by Jim].

②[　　] を閉じる
どこで [　　] を閉じるかは，以下のルールがあります。関係代名詞から “[” をつけます。そのカッコの中には 1 つ「だけ」動詞が必要です。つまり「2 個目の動詞の直前」で “]” を閉じれば OK です。2 個目の動詞が出てこなければピリオドで [　　] を括（くく）ってしまう。

This is the letter [which was written by Jim].
↑この動詞はカウントしない　↑ 1 個目　↑ 2 個目の動詞ナシ

The boy [who is playing the piano] is Ken.
↑ 1 個目　↑ 2 個目の動詞 is の直前で括る

③先行詞（直前にある名詞）を修飾する
This is the letter [which was written by Jim].
これは [ジムによって書かれた] 手紙です。

The boy [who is playing the piano] is Ken.
[ピアノを弾いている] 少年はケンです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【自習用】「文」を先行詞にする

普通，先行詞は直前にある「名詞」ですが，「直前の文（もしくはその一部）」を先行詞にすることもあります。文を先行詞にするときは必ず「非制限用法（関係詞の直前にコンマを置く）」です。「そのこと」と訳せば OK です。

●「前の文（全部）」が先行詞

He came here, which was a big surprise.

「彼が帰ってきたが，それはすごいサプライズだった」

※ which の先行詞は「前の文（He came here）」です。「彼がここに来たこと＝サプライズ」です。

●「前の文の一部」が先行詞

She said that she had nothing to do with the incident, which is unbelievable.

「彼女はその事件とは何の関係もないと言ったが，それは信じられない」

※ which の先行詞は「前の文の一部（that she had nothing to do with the incident）」になる。

仮に，先行詞を「前の文の全部（She said that she had nothing to do with the incident）」と考えてしまうと,「彼女が発言した行為」そのものが「信じられない（ありえない）」になってしまう。「彼女が話した」というのは紛れもない事実ですよね。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【自習用】所有格

●所有格は消去法で解くのがベスト

今までと同じ流れで説明すると「所有格が欠けてれば，所有格の関係代名詞 whose」という解説が一見スッキリするのですが，現実的には「主格・目的格じゃなければ，所有格」という消去法が一番効率よく解けます。「それじゃ不安」という方は，次のポイントをチェックしておきましょう。

①「無冠詞名詞」に反応する

空所の後ろに「無冠詞名詞」がきたら所有格の可能性があります。
本当は冠詞（a・the）が必要なのに，冠詞がないときは whose を考えてみましょう。

Mary has a dog（　　）ears are long.
↑無冠詞名詞発見！！

Mary has a dog whose ears are long.「メアリーは耳の長い犬を飼っています」

②「所有関係」が成立

“先行詞（　　）名詞”で whose が入る場合, 必ず「先行詞 's 名詞」という「所有関係」が成立します。

He is a boy（　　）father is a doctor.
ここでは“a boy's father”が成り立ちますので whose が入ります。

He is a boy whose father is a doctor.「彼は，父親が医者だ」

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③ whose と結びつきやすい名詞

また，所有格 whose と結びつきやすい名詞で代表的なものを眺めておくだけでもだいぶ解きやすくなると思います。whose の直後にくる名詞は，先行詞に「所有されている」わけですから，「部分」を表す名詞ばかりです。

whose と結びつきやすい名詞

①家族の「部分」：father ／ mother ／ parents ／ brother ／ sister ／ son ／ daughter
②体の「部分」：eyes ／ hair ／ ears ／ nose ／ name
③物の「部分」：top「頂上」／ roof「屋根」

【例題】　空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1)　A child (　　) parents are dead is called an orphan.
　1. who　2. which　3. whom　4. whose

(2)　Is there any student (　　) name hasn't been called?
　1. that　2. who　3. whom　4. whose

(3)　Applicants (　　) resumes are received before May 31st will be given priority.
　1. who　2. whom　3. whose　4. whoever

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■復習テスト

空欄に入る最も適切なものを選びなさい。

(1) You must not forget that all (　　) glitters is not gold.

1. it　　2. whose　　3. that　　4. which

(2) The old man who they decided (　　) in the river proved to be alive.

1. drowning　　2. have drowned
3. was drowned　　4. were drowned

(3) The exact time (　　) the murder was committed is not known.

1. how　　2. when　　3. where　　4. which

(4) He is the perfect accountant, (　　) his predecessor was not.

1. that　　2. which　　3. who　　4. whom

(5) He boasted about the news (　　) his team won.

1. that　　2. what　　3. which　　4.who

(6) Is that all (　　) is to this story?

1. here　　2. it　　3. that　　4. there　　5. this

(7) I don't know the name of the man (　　) I spoke on the phone.

1. in which　　2. from which　　3. by whose　　4. to whom

(8) This is a game the rules (　　) I am quite ignorant of.

1. which　　2. what　　3. of which　　4. of what

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

NOTE

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

テキスト解答解説

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 13 講　関係詞(1)　解答

【１】

1

(1)　2

（和訳）私は千葉に住んでいるのだが，千葉は東京の東側に位置している。

(2)　3

（和訳）光るもの必ずしも金ならず，ということを忘れてはいけない。

(3)　3

（和訳）絶対に抗議すると思っていた女性からは何もコメントがなかった。

(4)　3

（和訳）彼らが川で溺死したと判断した老人は，生きていると判明した。

2

(1)　2

（和訳）これこそ私がずっと探していた辞書だ。

(2)　3

（和訳）「休暇中にどこかに行く予定ある？」「うん，２月でも泳げる素敵なビーチを見つけたんだ。」

(3)　1

（和訳）昨晩，シンディーは東京での新しい仕事について私に語ったのだが，とても楽しんでいるようだ。

(4)　2

（和訳）殺人が行われた正確な時間はわかっていない。

(5)　3

（和訳）彼がどうやって窓を開けて家に侵入したかをあなたに教えましょう。

(6)　2

（和訳）教授は僕がとても面白いと思った本を紹介した。

3

(1)　2

（和訳）彼らはヴァージニア・シティと呼んでいた街に住みついた。

(2)　2

（和訳）彼は完璧な会計士である。彼の前任者はそうではなかったが。

(3)　1

（和訳）彼は自分のチームが優勝したという知らせを自慢した。

(4)　3

（和訳）ジョンは父が教鞭をとっていた大学を訪れた。

(5)　4

（和訳）その話についてはそれだけですか？

【２】

1

(1)　4

（和訳）電話で話した男性の名前が分からない。

(2)　3

（和訳）教授は生徒にきつい口調で言った。「講義で言ったこの箇所を読みなさい。」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

⑴　He seemed to be［ filled with anxieties the cause of ］which I couldn't imagine.

（和訳）彼は不安でさいなまれている様だったが, その原因は私には想像できなかった。

⑵　3

（和訳）チャールズは私に２冊の本をくれたが，まだどちらも読んでいない。

⑶　3

（和訳）これは私がルールをまったく知らないゲームだ。

【例題：解答】

⑴　4

（和訳）両親を亡くした子供を孤児と呼ぶ。

⑵　4

（和訳）名前を呼ばれていない生徒はいますか？

⑶　3

（和訳）5 月 31 日までに履歴書を提出した応募者を優先します。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習テスト解答

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

■第 13 講　解答

⑴　3　⑵　3　⑶　2　⑷　2　⑸　1　⑹　4　⑺　4

⑻　3

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。